

支援記録業務の改善検討

【会社概要】

社会福祉法人徳誠福祉会 障害者支援施設 徳誠園

所在地：青森県青森市四戸橋字磯部243-582

従業員：49名

主な業務：障害者支援、施設運営

URL：<https://tokusei-fukushikai.jp/facilities/tokuseien/>



【取組時の状況】

- ◆ 職員は、共同で利用しているパソコンから、日々の介護記録を「ほのぼのmore（支援記録システム）」に入力していた。
- ◆ 利用者の通院に付き添う際、介護記録をシステムから印刷しているが、**印刷漏れ等により不足している情報を都度電話で確認**していた。
- ◆ **タブレット導入などを検討したことがあるものの、費用対効果の算定方法が分からず、導入を見送った**ことがある。
- ◆ 同法人が運営する他の施設では、採用活動にSNSを活用しており、当施設でもSNSを活用した情報発信を行いたいと考えていた。

【課題】

- ◆ 職員により、システムに入力する内容が異なっており、入力内容が統一されていない。
- ◆ **通院に付き添う際の電話での確認を減らしたいが、具体的な方法が分からない。**
- ◆ 採用活動を目的としたSNSの活用方法が分からない。

【専門家の支援内容】

- ◆ 介護記録を分析したところ、支援記録が詳細に入力されているため、入力内容の統一は不要であり、**入力業務の効率化が必要**であると提案した。
- ◆ 通院などの外出時や施設内での支援中に、システムへの入力が可能となるよう、タブレット導入を提案した。
- ◆ **タブレット導入に係る費用対効果を算出し**、導入によるメリットを説明した。
- ◆ SNSの概要を指導及び福祉業界の活用事例を紹介し、採用対象の若者が多く利用しているInstagramの活用を提案した。
(指導専門家：あおもりIT活用サポートセンター 一戸寿哉)

【成果】

- ◆ **業務改善の方向性（入力業務の効率化）**を定めることができた。
- ◆ タブレットの導入可否の判断材料となる**費用対効果の算出方法について知識を習得**することができた。
- ◆ SNSに関する知識や活用事例などについて習得することができた。

【今後の展望】

- ◆ **タブレット導入**及び導入後の業務フローについて検討する。
- ◆ Instagramを運用し、採用活動のための情報発信を行う。

<費用対効果の算出方法(例)>

費用		効果	
項目	費用	パラメータ	効果
ほのぼのmore クラウド版ライセンス (5年分)	3,151,500 円/年	3 回/月	81,000 円/年
Care Pallet (タブレット用アプリ)		45 分/回	336,000 円/年
補助金	-1,000,000 円/年	28,000 円/月	
ノートPC、周辺機器 (リース)	1,320,000 円/年	100 回/日	200,000 円/年
タブレット (買い切り)	300,000 円/年	10 秒/回	
初年度	3,771,500 円/年	1 回/月	15,000 円/年
二年目以降	1,320,000 円/年	25 分/回	
5年平均	1,810,300 円/年	介護報酬	2,000,000 円/年
			2,632,000 円/年

費用対効果 (ROI) 約145%